

第4回 水中ロボットを利用した水中文化遺産教室

主催：東海大学海洋学部、総合地球環境学研究所エリアケイパビリティープロジェクト
VisLab OSAKA/大阪電気通信大学 デジタルゲーム学科

目的：本教室は、未来を担う青少年に水中文化遺産の大切さを学んでもらう企画です。この経験を通して、石垣島における海洋環境保全と海洋資源開発の重要性についても学びます。

実施内容：石垣市の中高校生を対象に、考古学者とともに船で屋良部沖海底遺跡まで行き、水中ロボットを使って海底遺跡の見学を行います。今年は、皆さんがロボットで撮影した映像を大阪会場にライブ配信します。

見学場所：石垣市屋良部沖海底遺跡



石垣島の中高校生対象 参加費無料

事前申込: [東海大学/坂上憲光まで sakagami@scc.u-tokai.ac.jp](mailto:sakagami@scc.u-tokai.ac.jp)

錨や壺などが多数存在



地元高校生らの船上作業の様子

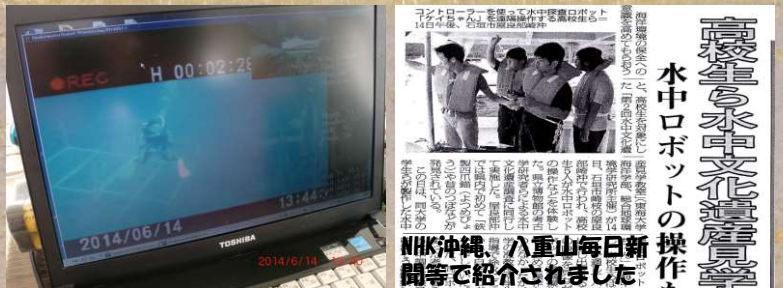


利用する水中ロボットシステム

撮影：水中文化遺産カメラマン 山本遊児



高校生が水中ロボットで撮影した遺跡の写真



2016年度実施内容

日時：10/30(日) 10時頃から17時頃まで

内容：水中ロボットを操縦して、船上からの海底遺跡見学

その他、注意事項：昼食・船酔いしやすい人は酔い止めを各自で用意。運動靴、濡れても良い服装、軍手、タオル、天候により雨具を準備（ライフジャケットはこちらで用意）。